

19年国公立大入試日程・新增設速報

東北大・名大・京大など、後期募集を 廃止する学部・学科が急増！ 筑波大が「7 9学群」に再編、“ナンバー学群”を廃止

平成 18 年 4 月 旺文社 教育情報センター

平成 19 年国公立大入試では、京大が医学部保健学科以外の全学部・学科で後期の募集を取りやめるのをはじめ、東北大 - 医(医)・歯・工・農、名大 - 教育・法・経済・情報文化・工、九大 - 薬など、一般入試を前期日程に集中する国立大が急増している。一般入試に関しては、国公立大の受験機会は実質的に 1 回限りとなる傾向が強まっている。

一方、東京工業大・信州大・大分大では A O 入試を導入するなど、国公立大入試も私立大並みに早期化しつつあり、18 年度以上に慎重な志望校選びが求められる。

国公立大の 19 年入試日程のあらまし

< センター試験から 2 次出願まで >

国公立大の 19 年入試日程の概要は以下のとおりである。

センター試験(以下、セ試)は、18 年 10 月上～中旬に出願受付が行われ、翌 19 年 1 月 20 日(土)・21 日(日)の両日に本試験が実施される。自己採点を行い、全国集計データなどを参考に、1 月 29 日から 2 月 6 日までに各大学・学部の 2 次試験に出願する。

< 分離分割方式 >

2 次試験は原則として、同じ大学・学部の募集人員を前期と後期に「分割」し、それぞれの試験を「分離」して行う「分離分割方式」によって実施される。前期日程は 19 年 2 月 25 日から、後期日程は 3 月 12 日以降に実施される。その前に、2 段階選抜を実施する大学・学部等の場合は、第 1 段階選抜結果発表が「前期... 2 月 13 日まで、後期... 2 月 28 日まで」に行われる。そして、合格発表は、前期が 3 月 6 日～10 日(公立大は 3 月 1 日～10 日)の間に、後期が 3 月 20 日～24 日(極力 23 日まで)の間に行われる。

前期と後期の募集人員の比率は、概ね前期 3 : 後期 1 (18 年は前期 76.6%、後期 23.4%) だが、前期の割合が年々高まり、8 割に近づいている。

< 公立大の中期日程試験 >

公立大では「公立大中期日程試験」を 12 大学 12 学部で実施する(p. 7 の表 2 を参照)。試験日は 19 年 3 月 8 日以降で、合格発表は 3 月 20 日～23 日の間に行われる(第 1 段階選抜結果発表は 2 月 20 日まで)。このうち、名古屋大 - 薬、大阪府大 - 工などの 7 大学 7 学

部は中期のみで、高崎経大 - 経済、下関市大 - 経済などの5大学5学部は、前期と中期の組合せで実施する。

< 4通りの出願パターン >

国公立大2次試験への出願は、試験日程の組合せにより、前期 後期、前期 公立大中期、前期 公立大中期 後期、公立大中期 後期、の4通りの併願パターンがある。しかし、～ で前期日程試験に合格し入学手続き(3月15日まで)をした者は、後期日程または公立大中期日程試験を受験しても合格者とはならない。

18年度から本格化した「前期集中化」

< 募集枠の弾力化 >

こうした国公立大入試の仕組みに、18年度から大きな変化が表れた。国立大学協会(以下、国大協)が、18年入試からAO・推薦入試等の実施を前提に、一般選抜で後期募集を廃止し、前期募集のみで実施することを認めたからだ。

9年以降、国立大の2次試験は分離分割方式による「前期・後期実施」に統一され、例外措置として教員養成系等における募集人員10人程度の場合や医療・芸術・体育系の大学など、募集人員の少ない学部・学科等で「前期(または後期)のみ」の募集が認められてきた。

しかし、募集単位ごとに定員を分割するため、少人数の学科等では各日程の募集人員が少なすぎる、後期は前期不合格者の“敗者復活戦”となってしまう、学生の資質の多様化に資することが少なく、入学意欲も低い、などの問題点が指摘されてきた。

このため、国大協では「複数の受験機会」「前期と異なる尺度での選抜」の確保を前提としつつ、(1)募集人員の分割を行う単位を、募集単位に関わりなく原則として学部とする、(2)募集人員の分割は、国立大全体の比率を基準に、各大学の裁量で決定できる、(3)分割比率の少ない日程の募集人員に、推薦入試やAO入試などを含めてもよい、といった弾力化を認めることになった。

< 18年入試に与えた影響 >

国大協による募集枠の弾力化に加え、国立大学法人化で大学運営の自由度が高まったことから、18年入試では一般選抜で「前期のみ募集」の大学・学部が17年25大学26学部18年37大学48学部(p.6の図1を参照)と急増。国立大全体の後期の募集人員は、17年比で6%減少した(前期は1%増)。

国立大では筑波大 - 医学専門学群、滋賀医大 - 医、岡山大 - 教育・法など、公立大でも会津大などが後期募集を廃止した。「前期集中化」によって受験機会を失った受験生は、近隣で後期を募集する大学・学部へ流出し、国公立大の志願動向に局地的な影響を与えた。例えば、神戸大 - 法(後期)の志願者43%増、香川大 - 法(後期)の志願者53%増は、岡山大 - 法の後期廃止の影響とみられる。千葉大 - 医(後期)の志願者41%増も、筑波大 - 医学専門学群の後期廃止の影響とみられる。

19年度は難関大が後期募集を廃止

<京大は1学科を除き「前期のみ募集」>

19年入試では、一般選抜において後期の募集を廃止し、「前期集中化」する大学・学部が、難関校や医学部を中心にさらに増加した。

まず、京大が医学部保健学科を除く全学で後期を廃止し、「前期のみ募集」になる。後期廃止の代わりに、教育学部は前期を文系型と理系型の2タイプに分割。工学部は2次の数・理の配点を重視する方式（物理工は数・理、電気電子工・情報は数）も併せて導入する。

東北大では医(医)・歯・工・農といった理系学部で後期を廃止し、医(医)・農でセ試を課すAO入試を導入。名大では教育・法・経済・情報文化・工の5学部で後期を廃止し、教育・情報文化で推薦入試を導入する。九大・薬も「前期のみ募集」となる。

この他、次の国立大学・学部が、新たに19年度から後期の募集を取りやめ、一般選抜を前期のみに切り替える（カッコ内は該当する学科・専攻等）。

弘前大 - 医(医)・農学生命科学(生物生産科学)、宮城教育大 - 教育(中等<技術・家庭>)、山形大 - 工B(情報科学以外)、筑波大 - 人間学群、宇都宮大 - 工(情報工)、千葉大 - 教育(小学・養護教諭・生涯教育)、埼玉大 - 教育(教科教育<国語>)、東京工業大 - 第1類、新潟大 - 医(医)、岐阜大 - 応用生物科学(獣医)、名古屋工大 - 工2部、三重大 - 教育(学校教育<国語・家政・美術>・消費生活科学)、大阪教育大 - 教育(小学<芸術・体育=保体実技選択>)、神戸大 - 発達科学(人間行動)、島根大 - 医(医)、岡山大 - 理(数学)、愛媛大 - 教育(造形芸術)、福岡教育大 - 教育(幼児教育・中等国語)、長崎大 - 教育(芸術文化)、熊本大 - 工(数理工)

<国立大の前期比率は80%に!?!>

18年新設の筑波技術大（視覚・聴覚障害者が対象。産業技術・保健科学の2学部）は、セ試を課さない別日程入試から、セ試を課す「前期のみ募集」の一般選抜に移行する。こうした日程変更により、全体で約1千人が前期日程に移行することになる。

さらに、「前期・後期」で実施する大学・学部でも、募集人員を後期から前期へシフトする傾向が強まるものとみられ、国立大の募集人員における前期比率は、18年の約77%から、19年は80%程度に高まる。

一方で、福岡教育大 - 教育(中等<実践学校教育>)は「後期のみ募集」に、宮城教育大 - 教育(特別支援教育)が改組により「前期のみ 前・後期募集」に変更される。

<公立大も中・後期縮小の方向へ>

公立大では、大阪市大 - 生活科学の後期廃止が目立つ程度だが、中期・後期の募集人員を削減し、前期や推薦・AO入試へ振り向ける傾向が見られる。

公立はこたて未来大では後期を削減(45人 25人)し、AO入試(12人 20人)と公募制推薦(48人 60人)を増員。名古屋市大 - 薬では一般選抜(中期)を90人 80人に削減し、セ試を課す推薦(10人)を導入する予定(従来はセ試免除推薦のみ実施)。大阪府大 -

工でも一般選抜(中期)を削減(421人→413人)し、AO入試の実施学科を3→5学科に増やす。さらに、兵庫県大・環境人間では「前期60人→100人、後期60人→20人」と前期の募集比率を大幅に高める予定だ。

なお、18年4月開設の札幌市大・名寄市大は、セ試を課さない別日程入試から、セ試を課す分離分割方式に移行する。試験日程については、札幌市大・デザイン、名寄市大・保健福祉(看護・社会福祉)は「前期・後期」募集、札幌市大・看護、名寄市大・保健福祉(栄養)は「前期のみ」募集となる予定。

<AO・推薦入試の導入>

AO入試については、国立大では前述の東北大以外にも、千葉大・教育、東京工業大・第1類、横浜国大・教育人間科学、信州大・理、富山大・経済、広島大・総合科学・薬、愛媛大・教育、大分大・経済で、公立大では青森県保健大・健康科学で新たに実施する。

このうち、千葉大・教育ではAO入試の定員内(50人)に、千葉県出身者が対象の「地域枠」(30人)を設ける予定。また、東京工業大・第1類では、セ試を課さず、「数学のみ5時間」のユニークな選抜を行う。

推薦入試では、山口大・医(医)で所在地の県内出身者に限定した「地域枠」を導入(定員85人中10人)。静岡大・教育では、県内のさらに過疎地域に対象を絞った推薦入試を導入する。また、弘前大・医(医)、島根大・医(医)では県内枠を拡大(弘前大15人→20人、島根大5人→10人)する予定。過疎地における医師不足、教員不足の解消を目的として、卒業後の定着率が高い地元出身者を確保するための措置といえる。

宮城教育大は教員養成課程に特化

<国立大の改組予定>

19年度に改組・再編を計画している大学もある。国立大では、筑波大が現行の「3学群・4専門学群」を「7学群・2専門学群」に再編する。第一～第三のいわゆる“ナンバー学群”を廃止し、学問的に近い複数の学類をまとめ、人文・文化、社会・国際、人間、生命環境、理工の各学群を設置。また、医学専門学群を「医学群」に、図書館情報専門学群を「情報学群」に改組する予定。今回の改組で新たに8学類を増設し、学類数は「15→23」に増える。学群ごとの教育・研究内容がイメージしやすくなるため、志願者増の要因となろう。

また、宮城教育大では教員免許取得を卒業要件としない「生涯教育総合課程」を廃止し、教員養成課程のみに特化する。“団塊の世代”の大量定年退職などにより、19年度以降に教員需要の拡大が予測されるための措置で、教員養成課程の募集人員は「前期126人→213人、後期39人→87人、推薦30人→45人」に増加する。

<公立大の改組予定>

公立大では、奈良県大が従来の「夜間課程」から「昼間課程」に移行し、一般選抜では中期日程に加え前期日程を新規実施する予定(文部科学省に届出中)。山口県大では4学部を3学部統合・改組。生活科学部を廃止して、3学科のうち環境デザイン学科(文化創造学

科に改称)を国際文化学部に移行し、栄養学科を看護栄養学部(仮称)に移行する予定(文部科学省に届出中)。また、前橋工科大ではシステム生体工・生物工・総合デザイン工の3学科の新設が予定されている。

早期かつ慎重な志望校選びを！

<私立難関大の出願動向にも影響>

国公立大の「前期集中化」は、私立大入試にも影響を及ぼしそうだ。国公立大入試の「実質1回」化に伴う不安から、受験生が早大・慶大や同志社大など、私立大難関・上位校の併願を増やすものとみられる。

さらに、私立大難関・上位校で一般入試やセ試利用入試の後期募集(3月試験)の新規実施や募集枠拡大が相次ぐことが予想される。18年入試では、立命館大が3月試験(後期分割、セ試後期)の募集人員を定員の1割2割に増やし、3月試験に限っては志願者が約5割増。関西学院大も、セ試利用入試の3月募集の実施を「17学部」に拡大した結果、募集枠77人に対し1,520人も志願者を集めた。国公立大入試に生じた“空隙”を狙った、基礎学力のレベルが高い国公立大受験者層の争奪戦は、すでに始まっているのだ。

<必ず要項で試験日程を確認>

加速度的に進む「前期集中化」により、国公立大一般入試の受験機会は、実質的に1回限りとなりつつある。一方で、推薦・AO入試の募集枠拡大により、国公立大入試も私立大並みに早期化している。このため、受験生には、早期かつ慎重な志望校選びが必要となろう。

なお、p.6の表1は18年度の国立大一般選抜で「前期のみ」「後期のみ」で募集した大学・学部を参考として、p.7の表2は公立大で19年に「前期のみ」「後期のみ」「中期」で募集する大学・学部の3月現在の判明分を掲載したので、今後の変更もあり得る。7月末までに発表される選抜要項や、12月中旬までに発表される募集要項で、必ず試験日程を確認してほしい。

20年国公立大入試速報

名大が後期募集を全学で廃止予定！

20年度以降も、国立大の難関校で後期募集を廃止するか、募集枠を削減する傾向は続きそうだ。すでに、東大が20年度から後期の募集人員を約3分の1に縮減し(削減された約200人は前期に移行)、文理融合的な共通問題による全科類(理科3類を除く)の一括募集(合格者は希望する科類へ入学可能)を行うと発表した。

名大では20年度から、文・理・医・農で後期募集を廃止し、文で推薦入試を導入。全学で後期を取りやめることになる。さらに、東北大では法・教育・薬・医(保健)で20年度から後期を廃止し、教育・薬・医(保健)でセ試を課すAO入試を導入。九大-芸術工でも後期を廃止し、AO入試の実施学科を「25」に増やすという。

【表1】18年国立大入試 / 「前期日程のみ」「後期日程のみ」で募集した大学・学部等（参考）

<p>前期日程のみで募集した大学・学部等 北海道教育大 - 旭川校 (芸術・保体<音楽・保体>)、岩見沢校(芸術<音楽・美術>) 小樽商大 - 商<夜> 岩手大 - 教育 (学校教育 - 中学<言語・社会系、理数・生活・技術系、実技系>、生涯教育<スポ - ツ教育>) 宮城教育大 - 教育(学校教育<音楽、美術、保健体育>、障害児教育) 山形大 - 地域教育文化 (文化創造) 筑波大 - 第一学群(自然)、医学専門学群、体育専門学群、芸術専門学群 宇都宮大 - 国際、教育 (学校教育 - 教科教育<実技系>) 埼玉大 - 教育 (学校教育 - 教科教育<社会、美術、保健体育>) 千葉大 - 文 (国際言語文化)、看護、教育 (中学、幼稚園、養護学校、スポーツ科学) 東京学芸大 - 教育(初等教育<音楽、美術、家庭>、中等教育<国語、音楽、美術、保健体育、家庭、技術、英語、書道>、国際理解教育<国際教育、多言語多文化>、芸術文化<美術、書道>) 東京芸大 - 音楽 (全学科) お茶の水女子大 - 文教育 (芸術・表現行動<舞踊教育>) 横浜国大 - 教育人間科学 (学校教育) 長岡技科大 - 工 金沢大 - 教育 (学校教育<音楽、美術、保健体育>)</p>	<p>福井大 - 教育地域科学 (学校教育<理数教育、芸術・保健体育>) 山梨大 - 医 (看護) 静岡大 - 教育 (発達教育<教育実践学以外>、障害児教育、教科教育<社会、技術、音楽、保体>、生涯教育<国際理解教育>、芸術文化<書文化>) 愛知教育大 - 教育 (初等教育<教育科学、芸術(音楽選択)、生活スポーツ(体育選択)、幼児教育>、中等教育<教育科学、英語、国語・書道、社会、音楽、美術、保体、家庭>、生涯教育<スポーツ・健康>) 豊橋技科大 - 工 三重大 - 教育 (学校教育<技術、幼児教育、学校教育>、人間発達科学) 滋賀医大 - 医 京都教育大 - 教育 (学校教育<技術、家庭、書道、音楽>) 大阪教育大 - 教育 (中学<教育科学、国語、英語、技術・家庭、理科、音楽、美術・書道>、教養 - スポーツ・健康科学・生活環境<スポーツ>、文化研究<欧米言語文化>) 和歌山大 - 教育 (教科教育<実技系>) 島根大 - 教育 (学校教育 類<音楽>) 岡山大 - 教育 (全課程)、法<昼>、理 (物理、化学、生物、地球科学)、薬、環境理工(環境数理、環境デザイン工) 愛媛大 - 教育 (学校教育<保体>)</p>	<p>山口大 - 教育 (学校教育 - 教科教育<英語、数学、社会、理科、技術、家政、音楽、美術、保体>、幼児教育、障害児教育、国際理解教育) 鳴門教育大 - 学校教育 (小学<音楽、図工、体育、技術、家庭>、中学<技術、家庭、音楽、美術、保体>) 福岡教育大 - 教育 (初等<学校臨床>、中等<音楽、美術、家庭、技術、書道>、環境教育<人間環境>、生涯スポ芸<音楽・書美>) 長崎大 - 教育 (学校教育 - 中学<国語、社会、英語、音楽、美術、保体>) 熊本大 - 教育 (中学<技術以外>、養護教諭、地域共生社会、生涯スポーツ福祉) 宮崎大 - 教育文化 (学校教育<中学、障害児教育>、生活文化<芸術文化>) 鹿児島大 - 教育 (学校教育<数学、理科、家政>) 鹿屋体育大 - 体育 琉球大 - 教育 (学校教育<国語、音楽、美術、保体、技術、家政、英語、教育学、学校心理学>、生涯教育<日本語、生涯健康>)</p> <p>後期日程のみで募集した大学・学部等 北海道教育大 - 岩見沢校 (芸術文化) 東京学芸大 - 教育 (芸術文化<音楽>) 東京芸大 - 美術 (全学科) 大阪教育大 - 教育 (中学<保健体育>) 福岡教育大 - 教育 (生涯スポ芸<美術>)</p>
--	--	---

【表2】19年公立大入試 / 「前期のみ」「後期のみ」募集と中期日程(18年3月現在)

大 学	前 期 日 程 の み	後期日程のみ	中期日程
釧路公立大	経済(中期日程と定員を分割)		経済
札幌市大	看護		
名寄市大	保健福祉<栄養>		
青森県保健大	健康科学<理学療法>		
青森公立大	経営経済<地域みらい>		
岩手県大	ソフトウェア情報		
山形県保健医療大	保健医療		
会津大	コンピュータ理工		
群馬県民健康科学大	看護、診療放射線		
高崎経大	経済(中期日程と定員を分割)		経済
神奈川県保健福祉大	保健福祉<リハビリテーション>		
横浜市大	国際総合科学、医		
都留文科大	文(中期日程と定員を分割)		文
金沢理工大			美術工芸
岐阜薬大			薬
静岡県大			薬
愛知県芸大	美術	音楽	
名古屋市大			薬
京都市芸大	美術	音楽	
京都府大	文<文、国際文化>、人間環境		
大阪市大	生活科学		
大阪府大	総合リハビリテーション		工
兵庫県大			理
奈良県大	地域創造(中期日程と定員を分割)		地域創造
岡山県大	デザイン		情報工
広島市大	芸術		
下関市大	経済(中期日程と定員を分割)		経済
香川県保健医療大	保健医療<臨床検査>		
愛媛県医療技術大	保健科学<臨床検査>		
高知女大	生活科学		
北九州市大	外国語・経済・文・法の各夜間主		
沖縄県芸大	美術工芸、音楽		

(注) 札幌市大・名寄市大・奈良県大は予定。国際教養大はセ試を課す独自日程で実施。